



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1976

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長テーマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

「ロータリー雑誌月間」

2010年3月25日 第1952回例会

◆ 会長時間 ◆

中田副会長



本日は会長が欠席と言う事で副会長として代行を務める事となりました。さて創立40周年記念事業開催のせいか、あっと言う間の3月でした。

前週は拉致被害者支援募金に

ご協力いただき有難うございました。また卓話もゴルフ談議で楽しい会員卓話を頂きました。

今週はうれしいニュースがあります。同好会のバイオレッツがまた勝ったと聞いております。後程、くわしく報告があると思います。次週例会につきましては夜間例会に変更し、先日開催された当クラブ創立40周年記念開催の打上げをしてご協力下さいました会員の皆さんと労をねぎらいたいと、会長が企画されております。

時間を間違われない様に楽しんでいただければと思っております。

本日の卓話は広島県菓子工業組合専務理事の伊藤学人氏にお話していただきます。“甘い卓話”を後程よろしく願います。

● 会務報告

森信幹事

※先週例会でお願いしておりました任意による拉致被害者帰国活動支援募金について、14,400円を地区事務所に送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

※次週例会は夜間例会に変更となっておりますので、お間違えのないようお願い致します。

● 委員会報告

出席報告 香川(基)委員長

本 日 (3月25日・木曜日)

会員数	87名	出席者	66名	
欠席者	21名	ご来客	4名	
ご来賓	1名	ゲスト	0名	
			計	71名

前々回(3月11日・木曜日)

出席率 100%



※ 情報化推進特別委員会

諏訪委員長

広島西RCホームページの

リニューアルについて

情報化推進特別委員会は、広報活動の改善、クラブ活性化、資料のデジタル保存を可能にする仕組み作りを進めてきましたが、このたびその成果の一つとしてクラブのホームページのリニ

ユーアルが完了しましたのでご報告いたします。
URLは今までと同じです。新しいホームページでは新たにパスワードで保護された「会員専用ページ」を設け、本来目的が異なる一般向けの情報発信と会員向けの情報提供を明確に区別し、個人情報の保護にも配慮しました。口頭ではわかりにくいと思いますので、別途ご説明の機会をつくって詳しくご披露したいと思いますが、どうかこの機会に新しいホームページをご覧くださいますようお願いいたします。尚、会員専用ページは内容の精査が完了しておりませんので、公開まで今しばらくお待ちいただくようお願いいたします。

＊姉妹クラブ友好委員会 金本委員長 台南への3名の派遣出発報告

先日3月23日に、台南RCとの青少年交換ホームステイの派遣メンバー3名が台湾に向けて出発いたしました。

3月31日までの9日間の予定で、盛り沢山のスケジュールが予定されています。

貴重な体験をして帰国してくれるものと期待しています。

＜派遣メンバー＞

安部 満里菜さん（安部会員のお孫さん）

森信 亜友美さん（森信会員の娘さん）

柴田 聡司くん（柴田会員の息子さん）

●同好会報告

♠紫雀会 小橋世話人

紫雀会2月例会・3月例会報告

紫雀会です。大変、報告が遅くなっておりました2月例会と、先週、行われました3月例会の成績を続けて報告いたします。

これは私が感じることなのですが、麻雀というものは、不思議なゲームだと思います。ゴルフの場合は、運も少しは作用いたしますが、実力、九割、運は一割位の確立では、ないかと思われ

ます。
ところが、麻雀は、東南西北で、それぞれが座る場所や、ゲームを、する時間帯などで、随分、ツキというものが、違って来ると思われるのです。ということで、2月例会は、この日、本当に運よく、たまたま、優勝出来たのは、私、小橋でした。余程、ツキが、あったのでしょう。

家族に喜ばれたのは、言うまでもありません。

本当に有り難うございました。

準優勝は、運気が非常に強かった大ベテランの園尾会員。

第3位には、刀禰会員が入賞されました。

誠に、おめでとうございます。

続きまして、3月例会の優勝は、またもや、実力と運の両方を兼ね備えておられる刀禰会員でした。

準優勝は、前半、最下位ながら、いつも本当に粘り強い木本会員でした。

第3位は、久々に出場された松岡(幹)会員が、入られました。

本当に、おめでとうございます。

次回は、4月15日に、こうごクラブの予定です。

多数のご参加を宜しくお願い申し上げます。

♠バイオレッツ 柴田世話人

本日も大変嬉しい報告があります。

第16回ガバナー杯、2回戦が22日（月・祝）に旧広島市民球場であり、我がバイオレッツは、山口の強豪 防府RCと対戦し、7対3で勝利しました。

初回、柴田の先制レフトオーバー2点タイムリーツーベースを皮切りに、原君のライトオーバーと打線がつながり、常に試合をリードする展開となりました。

投げては、バイオレッツの秘密兵器、高校時代カープの津田投手と投げあった事を、密かに心の自慢にされている鮫島さんが 相手強力打線を3点に抑える好投を演じられました。バイオレッツ創部10周年目と言うことでユニフォームを一新し、メンバー全員が勝ちへの執念がある事が今回の快進撃の原動力となっていると思われます。この事に加えて、先週ご披露しました「住吉神社の御札」このご利益がある事を忘れてはいけません。

さて、次回はいよいよ あのマツダスタジアムで準決勝・決勝戦が行われます。試合日は4月11日 日曜日の午前10時からの試合開始となります。この試合に勝てば、午後1時から決勝戦が行われます。準決勝の相手は、強豪 韋の浦RCです。決勝戦は光RCと北RCとの勝者と対戦いたします。ここまで来れば優勝を目指して頑張りますので応援を宜しくお願い致します。

ご入会記念月おめでとうございます。

(5名)

園尾君 (S45年) 長谷川君 (S53年)
堀江君 (H5年) 小橋君 (H14年)
鮫島君 (H21年)

創業月おめでとうございます。

(11名)

中村(哲)君 カクサン食品㈱
中田君 丸中石油㈱
大本君 大本・三宝法律事務所
竹本君 ㈱ヒロツク
田戸君 ㈱京屋仏壇店
斉藤君 日成産業㈱
中岡君 ㈱ナカオカ
小橋君 コアサ興産㈱
木本君 (有)吉島タクシー
加藤君 ㈱御菓子所高木
荒川君 アイワ建設㈱



奥様お誕生日おめでとうございます。

(3名)

森信君 信子夫人 (11日)
藤田君 千春夫人 (14日)
井原君 裕子夫人 (18日)

2月決算月おめでとうございます。

(6名)

村上(智)君 ㈱フジセンイ
川西君 ㈱トータテハウジング
香川(基)君 ㈱福屋
古屋君 ㈱ホロン・(有)エス・ティ・ケイ
諏訪(昭浩)君 (有)諏訪
諏訪(昭登)君 (有)諏訪



●スマイルボックス SAA 松岡(幹)委員

😊園尾君

3月20日中国新聞朝刊によりますと、戸田工業は、リチウムイオン電池の正極材を作る米国の新工場建設で伊藤忠商事と合弁生産会社を設立すると発表しました。15年までに電気自動車8万台分の生産を目指すようです。伊藤忠と共同

出資することで資金負担を減らせ効率よく運営が出来るとの事。今後も先進分野での活躍を祈念して出宝をお願いします。

😊鈴木君

3月23日経済レポートによりますと、プルデンシャル生命保険はマツダスタジアムの年間指定席を広島県児童養護施設協議会に寄贈することを決めました。昨年広島支社開設20周年を機に実施した企画で、今年も子供たちの期待に応えることにしたようです。約700人の子供たちが順番に観戦するようです。世界30数箇所にネットワークを持つプルデンシャル生命保険は奉仕活動にとっても積極的な会社ようで、今後も多くの子供たちに夢を与えていただきますようお願いしまして出宝をお願いします。

😊大西君

3月25日広島経済レポートによりますと、環境ビジネスに挑むと題して広島菱重興産の記事が載っておりました。県内初となる太陽光発電マンションを2009年2月竣工。13階たての屋上に三菱重工製の太陽光パネルを取り付け、共有部分の消費電力26%を賄え、入居者負担の管理費が1割安くなるシステムのようなのです。積極的なCO2排出削減への先進的な取り組み、今後も期待をしております。出宝をお願いします。

😊バイオレッツ

ガバナー杯で2回戦を勝ち抜かれ、準決勝・決勝とマツダスタジアムでの大会出場お目出度うございます。

😊紫雀会

2月例会が2月25日に行われました。成績は以下のとおりです。

優勝 小橋会員 (ダブル)
準優勝 園尾会員
第3位 刀禰会員

3月例会が3月18日に行われました。成績は以下のとおりです。

優勝 刀禰会員 (ダブル)
準優勝 木本会員
第3位 松岡(幹)会員



菓子博について 第26回 全国菓子大博覧会 広島

広島県菓子工業組合専務理事
伊藤 学人氏

広島県菓子工業組合 専務理事の伊藤でございます。本日は全国菓子大博覧会についてお話をさせていただく機会を得まして大変喜んでおります。

お菓子の博覧会は、お菓子の祭典としてほぼ4年に1度、全国の各地を回って開催されます。その地域のお菓子屋さんで作っている菓子工業組合が主催しているものですが、地方自治体もバックアップする大きなイベントとなっています。お菓子の博覧会の始まりは古く、明治44年の第1回帝国菓子飴大品評会に遡ります。戦争による一時中断はありましたが、全国のお菓子屋さんの熱意で復活し、名称を全国菓子大博覧会と変えて、約1世紀にわたりこれまで25回の開催を重ねてきました。会場では全国よりお菓子が集められ展示・即売され、また菓匠により作られた工芸菓子が披露されます。優秀な作品には皇族による名誉総裁賞、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞などが授与されますが、全国菓子大博覧会での受賞は菓子業界のなかでも最高の栄誉とされ、賞をもらうために全国のお菓子屋さんは日々研鑽をし続けています。皆さんは、街のお菓子屋さんの店先によく賞状が飾られているのを見たことはありませんか。また、お菓子の包み紙に内閣総理大臣賞受賞などと記してあるのを見たことはありませんか。その賞は、この博覧会によるものです。当会にも、高木の加藤さんのところの「鶴亀最中」が最高賞の名誉総裁賞を受賞されておられますし、前回の姫路菓子博では上田さんのところの上田昆布の「梅カムこんぶしそ梅味」が名誉総裁賞を受賞されました。広島県には目立った菓子がないと批判されますが、その技術力は全国でも高く評価され毎回の博覧会で4～5点は最高賞の名誉総裁賞を受賞されています。

さて、菓子博の歴史ですが、明治44年東京において第1回菓子飴品評会として開催されてより、

金沢・大阪の後当地広島にて開催されております。大正10年4月1日より15日までの15日間、広島商品陳列所（現原爆ドーム）で開催されました。大会会長は住田千代松氏で出品企業2253社・出品点数5562点と記録されています。既に廃業しておりますが、本年1月に寿美多屋の住田二郎氏（住田千代松氏の孫）に電話いたしましたところ、当時の写真が残っておるとのこと、早速取り寄せ拝見いたしました。48枚程ありましたものは、原爆ドームの中の様子もはっきり写っており、大変貴重なものでございました。「堅パン」「餅」「シウクリーム」「カステラ」、和洋取り混ぜた菓子が立札とともに並び、ココアホールの看板を設けた喫茶スペースも見られます。この写真は、住田二郎氏とも相談し現在広島市の公文書館に保存されています。この菓子博は、昭和14年の第11回大分大会を区切りとし、戦争による中断を経て、昭和27年横浜大会で復活いたします。この間中・四国ブロックでの開催は、昭和6年の第8回松山大会並びに平成元年の第21回松江大会に限られます。

それではここで第25回全国菓子大博覧会・兵庫の概要についてお話いたします。「姫路城で花開く 平成の菓子文化」のテーマのもと、平成20年4月18日から5月11日の24日間、会場に姫路城周辺約15haを利用し開催されたものですが、JR姫路駅から徒歩15分の大変利便性の高い会場でした。名誉総裁に三笠宮寛仁親王殿下を頂き、大会会長井戸兵庫県知事・副会長石見姫路市長の顔ぶれで、主催は構成員として兵庫県菓子工業組合・兵庫県洋菓子協会・兵庫県・姫路市・兵庫県商工会議所連合会・姫路商工会議所等、また後援団体としては農林水産省・内閣府・総務省等6省2庁であり、皆さんがイメージされているものより大々的なイベントであろうかと思われます。入場者数は922千人を数えました。この大会はその多くを入場料収入で賄います。姫路の場合は、入場券販売総数85万枚（当日券 大人2000円 シニア1600円 高校生1400円 中学生800円 小学生以下は無料ただし大人の同伴が必要）となり、収入総額21億円で支出総額19億円を差し引いた利益2億円が決算として残っておりますし、経済波及効果150億円といわれています。この大会は当初入場者数60万人で計画されておりましたこと、並び

に会場自体が細長い場所であったことから、一方通行しかできず、一つのパビリオンに入るのに1～2時間の待ち時間があるなど不具合な面も多々ありましたが、収支だけ見ると大まではいきまさんが成功であったと言えるでしょう。

それではいよいよ本題の広島大会のお話に入ります。平成10年第23回盛岡大会を当時の広島市経済局長であった吉中局長が見学になり、その規模と賑わいに大きく感動され、当時計画があった宇品メッセ・コンベンションの「こけら落とし」として誘致意向を表明されました。私ども菓子組合の役員も広島市の協力が得られるなら検討することといたしました。その後宇品計画はとん挫し、菓子組合としてもやれやれと安心しておりましたが、姫路大会の次の立候補県が全くないこと、過去に広島で検討していることの意味表示をしていたこともあり、全国菓子工業組合 岡本樞雄理事長から平成20年2月に依頼があり、県・市に対し依頼を申し上げ、今日を迎えております。

さて広島で開催するにあたり、どのような大会をイメージしているかを簡単にお話いたします。現在広島市が整備計画をお持ちの旧広島市民球場並びにグリーンアリーナを利用したいと考えています。この大会を実行するには、入場料を取る以上ある程度閉鎖された空間が必要であり、上記の場所であればこの条件を満たしてくれます。全国から集まってくるお菓子1万点、世界から集まってくるお菓子数千点、このお菓子を来場者が自由に選び・買うことができる。広島にある菓子専門学校の生徒さんの指導により、親と子が一緒になってお菓子作りに励む和やかな空気。閉じられた空間から街に出て、楽しく食事したりショッピングできる空間。幸いに広島市には全国各県の県人会が整備されており、県人会の皆さんと出展者の菓子屋さんとの交流の輪、各県のお国言葉が飛び交う会場。工芸菓子を見て、その芸術性と高度な技術に感嘆の声を挙げる人々。お菓子を頬張りながら笑顔と笑顔が満ち溢れる会場。そんな会場作りを目指して平成25年4月19日から5月12日を迎えたいと考えています。目標入場者数100万人、経済波及効果200億円、事業予算15億円を考えており、今後皆さんの物心両面のご支援を頂きながら頑張りたいと思っています。

■ロータリー情報

新会員とロータリーの精神を共に

多くのロータリアンが果たしていない責任や義務をご存知ですか。会費を払うことでしょうか。例会に出席することですか。クラブの奉仕活動資金に献金することですか。クラブの行事やプロジェクトに参加することですか。実は、そのいずれでもありません。

ロータリー・クラブに入会する際に引き受ける義務の中でも、ほとんどのロータリアンが果たしていないのは、ロータリーを共に分ち合うという義務です。国際ロータリーは、個々のロータリアンが「他の人とロータリーを分ち合い、適格者を会員に推薦することによって、ロータリーの拡大に助力する義務」を有しているという立場を明確に支持しています。多くのロータリー・クラブで、新規会員を推薦する努力だけでも試みたことのある会員は、全体の30パーセントにも満たないと推定されています。つまり、どのクラブでも、他の人と積極的に体験を分かち合おうとする会員が少ないということなのです。

クラブ会員に関するR I 定款には「各クラブは、一事業または専門職務に偏らない均衡の取れた会員身分を有しなければならない」と記されています。その土地の電話帳や商工会議所名簿のページに目を通すだけで、たいていのクラブは、すべての事業や専門職からの有資格者をロータリーに入会させていないということに気づくはずです。ロータリーの根本原則の1つは、ロータリーが支援する地域社会における事業と専門職従事者の人口を公平かつ公正に反映することです。その存在意義を維持するためにも、ロータリー・クラブは、地域社会内のすべての事業と専門職業を包含する必要があります。クラブは、性別、年齢、民族的背景という観点からも地元の事業と専門職の人口を反映することによって、会員の多様性をさらに広げていくことができます。

顧客や隣人、取引先、納入業者、会社幹部、親戚、仕事仲間、専門職業人といった有資格者を、ロータリー・クラブに入会するよう推薦できるのは、ロータリアンだけです。ロータリーの精神を他と分ち合う義務を受諾したことを、あなたは覚えていますか？ 方法はいたって簡単ですし、どなたでも、ロータリー会員となるべき人物を少なくとも1人はご存知なのではないでしょうか。

クリフォード L. ダクターマン著
「ロータリーのいろは」より抜粋